

令和5年度諮問に対する中央区消防団運営委員会最終答申（案）について

課 題	検 討 事 項	提言の項目（検討の方向性）	提言の内容
1 地域防災の要である消防団として、変化及び成長していくことが重要である。	1 区の地域特性や消防団の現況（構成等）を踏まえ、入団し活動を継続したいと思える組織の活性化方策について検討する。	1 管内特性の変化に合わせた町会・自治会等との連携強化による効果的な消防団活動体制の構築	<p>・各町会、自治会等に所属する消防団員を確保する。</p> <p>震災等の大規模災害発生時、町会、自治会等に所属する消防団員が人命救助や消火活動等の初動対応を実施するとともに、町会、自治会等と協力し被害状況等の重要情報の早期収集や、消防団本部への速報等、消防署や区をはじめとする関係機関との情報共有を図ることにより、各機関が連携して迅速かつ効果的な活動を展開できる体制を構築する。これにより消防団員が地域防災のリーダーとして活躍する姿を地域の人々が再認識することで、消防団員への信頼感とステイタスの向上を図る。</p>
	2 最新の技術等を考慮した活動環境の改善方策について検討する。	2 消防団員間の情報伝達手段の確保 3 消防団事務の効率化を図るためのタブレット活用	<p>・MCA無線機を全団員に配置する。</p> <p>消防団本部や消防団員間で情報を伝達することができるMCA無線機を全消防団員に配置し、消防団本部へ全消防団員が情報を報告できる活動環境に改善する。</p> <p>・タブレット端末を全団員に配置し、消防団事務の効率化を図る。</p> <p>消防団の会議のオンライン化、全消防団員に団長通知等を一斉送信することにより消防団事務の効率化を図る。また、消防学校主催の教育訓練をタブレット端末にてオンライン受講することにより、消防団員の負担軽減を図る。</p>
	2 活動力を地域で発揮していくことで、地域住民の負託に応え続けることが重要である。	3 消防力維持のため、計画的な人材育成方策について検討する。	4 経験が浅い消防団員に対する教育訓練体制の構築
		5 経験豊富な消防団員による訓練指導体制の構築	<p>・訓練指導者の指導力強化</p> <p>指導者となる消防団員向けに指導方法に特化した研修カリキュラムを充実させ、訓練指導方法や訓練計画の立案等、指導に必要な能力を養成する。また、指導者を中心に、自己分団内で継続的・計画的な消防団員育成に取り組む体制を構築する。</p>
4 地域に尽力している消防団を地域住民により知ってもらう方策について検討する。		6 管内企業や官公庁、消防団協力事業所等と連携した消防団活動の情報発信	<p>・消防団活動の情報発信強化</p> <p>管内企業や消防団協力事業所と協力してデジタルサイネージや企業ホームページ及び企業のソーシャルネットワークサービス（SNS）に消防団員が防火防災訓練等に参加している姿及び消防団活動の画像や動画掲載を依頼して情報発信する。</p>